



伊吹山を眺めながら凧を揚げる参加者ら = 杭瀬川スポーツ公園（大垣市野口地先）

## 杭瀬川河川敷で恒例の凧揚げ —昔遊び体験や豚汁の提供も—

- 大垣市子ども会育成連絡協議会が1月24日（土）、同市野口町の杭瀬川スポーツ公園で「水都っ子集まれ！新春正月まつり」を開いた。今年で21回目となる恒例のイベント。

たこ揚げや羽子板、けん玉など、正月の風物詩的な遊びを、子供たちに継承するとともに、たこ揚げを通じて、親と子、地域の触れ合いを深めることを目的にされ、市内の小中学生や保護者ら約500人が参加した。

青空が広がり、杭瀬川河川敷には伊吹おろしの強い風が吹き、凧揚げには絶好のコンディション。干支の羊や2015の文字・自分の好きなキャラクターなどを手書きした独自のカラフルな凧を揚げようと河川敷を走り回り、色とりどりの凧を空高く揚げた。



凧揚げを楽しむ親子

## ■大垣風愛好会による風揚げ



【虻風】



【連風】

大垣の風愛好会の方々が自作した虻風、奴風、連風が、まつりに華を添えた。また、小学校区毎の連風も、伊吹おろしの風に乗る、大空に舞い揚がっていた。

## ■伝えよう日本の伝統文化、親子で楽しむイベント体験



【ボーリング】



【けん玉】



【コマ回し】

## ■大垣市役所ロビーに展示



- 1月24日（土）に開かれた風揚げに、市内の東工区の子供会などが作成した連風が、後日、大垣市役所ロビーの吹き抜けを横断するように吊るされ展示されました。

